

4. シンポジウム

3) 知ってみよう、医療的ケア対応の居宅(訪問)介護の働き

有限会社しえあーど 管理者代行

達 美奈

有限会社しえあーどは 2003 年 4 月から兵庫県伊丹市を拠点として、「居宅介護」と「訪問看護」を中心に様々な方々の生活支援活動を行ってきました。

活動理念として「誰もが暮らせる地域づくり」「ケアの分かち合い(相互主体)」「存在の価値の明確化」「生きることに添いつづける」といった文言を掲げています。

設立当初から変わらぬ思いとして「当人に最も近くに居る人が当人と共に過ごす・暮らす」為に訪問看護スタッフは「後ろ支え」的役割を担うことで、居宅介護スタッフもあたりまえに喀痰吸引や経管栄養等の医療的ケアといわれるケアを日常生活における援助行為、と言うよりも「当人が行う咳嗽(吸引)・食事(経管栄養)」として捉え行ってきました。

そのことにより、例えば重症心身障害や超重症といわれる方々・子どもたちの「過ごし方」(ガイドヘルプ等による行動範囲の拡大と、それに伴う経験の多様化)や「暮らしの場」(ショートステイ等による自宅もしくは病院以外での宿泊体験)が拡がりました。

1 日 24 時間のうちの様々な時間帯で当人と共に過ごす時間を重ねることによってこそ、医療ニーズが高いとされる方々・子どもたちが様々な場所・場面で、ご機嫌に過ごすことができ、ご家族も安心できるカタチが作られると確信するところです。その始発的な役割を担うのが「居宅介護」であり「訪問看護」であると考えます。

福祉や医療による支援というよりも、当人から湧き出る思いや希望を共に感じながら「居る(おる)」という感覚を多くの方々と共有したいと願っています。